

超音波霧化器

霧化量コントロール付

ジェイ イー エイチ エヌ

型式 **JEH-N35**
4459



取扱説明書 〈保証書付〉

このたびは、トヨトミ超音波霧化器をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

次亜塩素酸水対応

※別売の次亜塩素酸水が必要です。

目次

① 安全のために必ずお守りください	1～3
② 設置場所について	4
③ 各部のなまえとはたらき	5
④ 使用前の準備	6
⑤ 使いかた	7
⑥ 日常の点検・手入れ	8
⑦ 修理を依頼される前に	9
⑧ 保管	9
⑨ 仕様	10
⑩ 保証とアフターサービス	10
⑪ お客様相談窓口	10
保証書	裏表紙

製品アンケートにご協力ください

製品アンケートはこちらです。

<http://www.toyotomi.jp/aiyou/>

※通信料などはお客様のご負担になります。



1 安全のために必ずお守りください

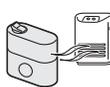
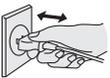
- お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

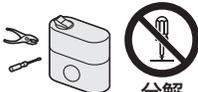
	この絵表示は、「禁止」されている内容です。		この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。
----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	--------------------------

- 説明文中の「お願い」事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

 警告(WARNING)	
<p>●日本国内専用です。電源は交流100V以外で使用しない。100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。</p>   <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>●直接水をかけたり、水につけたりしない。 ※浴室内などの水のかかり易い場所や湿気の多い場所で使用しない。水がかかると、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、火災や感電の原因になることがあります。水などがかかったら、使用を中止してお買い求めの販売店または、当社の「お客様相談窓口」にご相談ください。</p>   <p style="text-align: center;">水ぬれ禁止</p>
<p>●コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない。タコ足配線などで定格を超えると、火災や感電、電源プラグの異常発熱や変形の原因になります。</p>   <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>●可燃性ガス(殺虫剤など)を吹きつけない。また可燃性ガスや腐食性ガスの発生する場所やたまる場所では使用しない。万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、火災や故障や変色の原因になります。</p>   <p style="text-align: center;">禁止</p>
<p>●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は火災や感電の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的(1箇月に1~2回)に掃除してください。</p>   <p style="text-align: center;">確認</p>	<p>●吹出口や吸気口にピンや針など金属物等、また指を入れない。内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になるおそれがあります。</p>   <p style="text-align: center;">禁止</p>
<p>●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、重いものを載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。</p>   <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>●燃焼器具の上や周辺など熱気があたる場所には設置しない。故障や変形のおそれがあります。</p>   <p style="text-align: center;">禁止</p>
<p>●電源プラグやスイッチを濡れた手で抜き差ししたり、触れない。感電の原因になります。</p>   <p style="text-align: center;">ぬれ手禁止</p>	<p>●本体内部のお手入れに塩素系・酸性・アルカリ性・電気ポット用洗剤(クエン酸等)の洗剤を使用しない。本体内部に洗剤が残り、有毒なガスの発生や水漏れの原因になります。</p>   <p style="text-align: center;">禁止</p>
<p>●電源コードを重い物や製品の下に踏んで使用しない。電源コードが破損する原因になります。傷んだまま使用すると火災や感電の原因になります。</p>   <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>●排水するときは、水タンクをはずし、必ず右図の方向に排水してください。操作部側や送風口側に排水すると、水が回りこんで火災や感電、ショートの原因になります。</p>   <p style="text-align: center;">排水方向から</p>
<p>●電源プラグの抜き差しにより本機の運転を停止しない。感電や火災の原因になります。</p>   <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>●異常時(水漏れ、こげくさい等)は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店または、当社の「お客様相談窓口」にご相談ください。異常のまま運転を続けると、故障や感電や火災の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">電源プラグを抜く</p>
<p>●幼児の手の届く所で使用しない。感電や部品を誤飲する原因になります。</p>   <p style="text-align: center;">禁止</p>	

警告(WARNING)

●改造は絶対にしない。また修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。発火したり、異常動作して感電けかや火災の原因になります。修理は、お買い求め販売店または当社の「**お客様相談窓口**」にご相談ください。



分解
禁止

●お手入れの際は、必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。



電源プラグ
を抜く

注意(CAUTION)

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持って抜く。電源コードをもって引っ張って抜くとコード内部が断線して発熱・発火の原因になります。



持つ

●吹出口や吸気口の風をさえぎったり、塞いだりしない。発火や発熱や故障の原因になります。



禁止

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電やショートや発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感した時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。コンセントを交換しても異常に発熱している場合は販売店または、当社の「**お客様相談窓口**」に修理依頼してください。



確認

●安全装置(フロートスイッチなど)を改造したり、働かないようにしない。フロートスイッチをテープなどで固定したり本機を横倒しにして使用すると、水タンクの水が空になっても自動停止せず、発熱や故障の原因になります。



禁止

●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



電源プラグ
を抜く

●異常な振動や異音が出た場合は、使用を中止する。部品の落下等によるけがの原因になります。



指示

●落下した本機や水タンクは使わない。そのまま使うと破損箇所から水漏れして感電や発火やショートの原因になります。



禁止

●水がないときには電源を入れない。振動子の破損など故障の原因になります。



禁止

●水タンクの水は毎日新しい水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的に掃除する。掃除せずにお使いになると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。この場合は医師に相談してください。また、次亜塩素酸水は空気に触れたり、紫外線があたることで塩素濃度が下がっていきます。水タンクに次亜塩素酸水を入れた後は、できる限り早く使いきってください。



指示

●屋外で使用しない。屋内専用です。故障や感電の原因になります。



禁止

●1週間に1~2回以上、水そう部・振動子・フロートスイッチなどを掃除する。水垢等の汚れた状態で使用した場合、充分な性能を発揮しなかったり、カビ・悪臭の発生等により健康を害する恐れがあります。



指示

●障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所(棚などの高い所)では使用しない。事故や転倒や故障の原因になります。



禁止

●水道水(飲用)・次亜塩素酸水以外は使用しない。井戸水や汚れた水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、浄水器の水などは使用しないでください。カビや雑菌が繁殖しやすくなります。お湯や精油(アロマオイル等)・洗剤・薬品・香料を入れた水などは使用しないでください。変形・破損(割れ)故障の原因になります。



禁止

●本機は一般家庭でのご使用を対象にしていますので、食品・動物(飼育室等)・植物(温室等)・精密機器・美術品・コンピューター・ルーム・医薬品等の維持・管理や保存など、特殊用途では使用しない。また、ペット用の空調機器としての使用や車両・船舶への搭載はしない。本機自体やこれらの物の品質低下や劣化、故障の原因になります。予測できない事故が発生するおそれがあります。



禁止

●次亜塩素酸水は当社指定液性を守る。
濃度50ppm以下、pH5.0~6.5
当社指定液性を守らないと、人体・動物・植物などに悪影響を及ぼしたり、機器の故障の原因になります。



指示

●本機の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて水タンクを外してからおこなう。また引きずって移動しない。畳や傷の付きやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんの上では、持ち上げて移動してください。けがや床を傷つける原因になります。



指示

●運転をしたまま、水タンクや吹出口をはずさない。水タンクや吹出口を外すときは電源を切ってください。水が飛び散り故障や感電の原因になります。また水柱に触れると痛みを感じたりして危険です。



禁止

●霧を直接吸い込まない。直接吸い込むと、健康を害する恐れがあります。



禁止

⚠ 注意(CAUTION)

●必ず水タンクに給水する。水そう部に直接給水しない。
送風口から水滴が入り、感電や漏電の原因になります。



禁止

●お手入れは、手袋をはめておこなう。
けがの原因になります。



指示

●送風口に液体や異物を入れない。
掃除や排水をするときは、水がはねないように注意してください。はねた水が送風口に入ると、故障の原因になります。



禁止

●外出時や人のいない場所では使用しない。
予測できない事故が発生するおそれがあります。



禁止

●使用中に気分が悪くなったり、身体に異常を感じたときは直ちに使用を中止して、医師に相談してください。
健康を害する原因になります。



指示

●保管するときは、器具の操作を知らない人(特にお子様)などが触れない所に保管する。
けがや事故の原因になります。



指示

お 願 い

●吸気口・吹出口をふさがず、室内の空気がよく循環する場所に置いてください。

性能低下や故障の原因になります。

窓や冷たい壁に霧がかかると、水滴となって窓や壁、床につくことがあり、カビなどが発生することがあります。



●移動するときは、傾けたり、ゆすったりしない。
水そう内の水量が増えすぎて、霧化しにくくなります。



●凍結に気をつけてください。

寒冷地などで凍結のおそれがあるときは、水タンク・水そう部の水を捨ててください。
凍結すると水タンクが割れたり、故障の原因になります。

炎色反応について

ガス器具の近くでご使用になりますと、ガスの炎(通常は青色)がだいたい色になることがあります。これは水中に溶けているカルシウムなどが加熱されるときに特有の光を発する現象なので心配ありません。なるべく離してご使用ください。



本機の内部の付着物について

本機を使用していると、本体内部の振動子周辺、送風口、水タンク(霧が通過する箇所)等に固化した付着物が付くことがあります。これは、水の中(水道水)に含まれるカルシウムなど(ミネラル分)が集まり固化したものです。放置しますと、故障の原因や付着物が固まってしまい取れなくなるおそれがあります。付着物はこまめにブラシとやわらかい布で取り除いてください。(8ページ参照)

アロマオイルについて

●アロマポット・アロマキャップ・スポンジ以外(吹出口をはめ込む本体側を含む)にアロマオイルが付着した時は、きれいにふき取ってください。変色・変形・固着・ラベル類の剥がれの原因になることがあります。(アロマポットにまだアロマオイルが入っている時は吹出口を水タンクから取りはずしてから給水などの作業をしてください。) 本体内部までアロマオイルが入ったおそれがある時は、本体内部の水を捨てて、タンクキャップや本体内部の振動子と水そう部を洗浄してください。(8ページ参照)

●水タンク内には絶対にアロマオイルを入れないでください。

水タンクの変形や破損して水漏れしたり、器具の故障の原因になります。

●必ずご使用されるアロマオイルの取扱説明書などの注意書きをよくお読みの上、ご使用ください。

●アロマ運転をするときは、水道水を使用してください。

(アロマオイルは噴霧した次亜塩素酸水の作用を低下させるおそれがあります。)



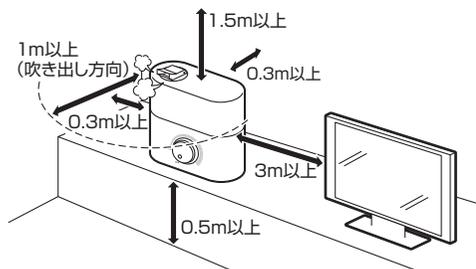
おやすみの際には…

本機には霧の量を自動的に調節する機能が備わっておりません。

夜間は室温が下がり結露しやすくなりますので、おやすみの際には運転を停止させるか、ひかえめな設定にしてください。

2 設置場所について

設置場所の基準寸法のめやす



- 図のように、周囲との距離を充分にとる。
(同じ部屋で加湿器を含む霧化器を2台以上使用する場合は、間隔を0.6m以上離す。)
- テレビ・オーディオ等のAV、パソコン機器から3m以上離し、できるだけ別のコンセントを使用する。
電波の弱い地域では、映像の乱れや雑音が出る場合があります。

白い粉について

お使いになる水によっては、本機から吹出す霧が蒸発すると白い粉となって周辺に残ることがあります。これは霧の中(水道水)に溶解しているカルシウムなど(ミネラル分)が固化したのになります。電気製品や精密機器(パソコン)などや家具などの近くで使用すると白い粉が付着し、故障したり家具などを傷める原因になります。
白い粉が付着したときは、早めにやわらかい布などでふきとってください。



こんな場所には設置しない

落下物の心配がある場所、凹凸のある場所では使用しない

不安定な物をのせた棚などの下、凹凸がある不安定な場所では使用しないでください。思わぬ事故や誤作動の原因となります。

窓や冷たい壁からは、できるだけ離して風通しの良い場所で使用する

窓や冷たい壁に霧がかかると、水滴となって窓や壁、床につくことがあります。カビなどが発生することがあります。風通しの良い場所で使用してください。

直射日光が当たる場所、暖房機の上や近く、温風があたる場所

変形・変色することがあります。また、水タンク内の圧力が上がり、霧の出かたが少なくなることがあります。

霧が家具・壁・カーテン・天井・電気製品や精密機器(パソコン)などに直接あたるところ

故障したり、家具などにしみが付いたり、変形の原因になります。

電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多いところ

正常に動作しない場合があります。

傾斜のあるところや不安定な場所

本体が傾くと、霧の量が変化したり、フロートスイッチが作動して運転が停止することがあります。

じゅうたん・電気カーペット・ふとんなどの上

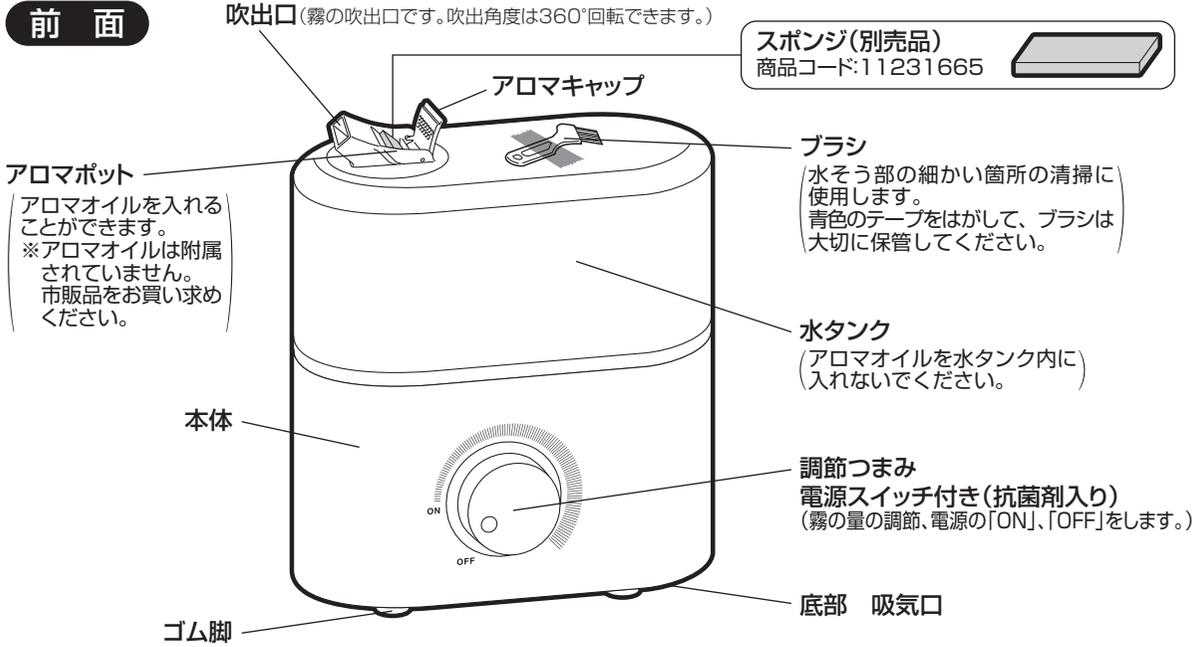
毛足が長いじゅうたんのう上や、ふとんのう上などに置くと、吸気口がふさがれて霧の出かたが悪くなります。また、内部温度が上昇して水があふれたり、安全装置が誤作動することがあります。

フローリング床や塩化ビニル製のシートやクッションフロアなどの上

場合によっては本機の底面のゴム脚の跡が床面についてしまうことがあります。

3 各部のなまえとはたらき

前面



内面 (本体の内部)

消耗品 霧化ユニット

霧化ユニットにある振動子は使うにつれて徐々に水を霧に変える能力が低下して霧化量が減少します。能力を保つためにも3000~5000時間を目安に交換をおすすめします。使用状況によっては目安より早く能力が低下する場合があります。

※お客様にて霧化ユニットの交換はできません。販売店にご依頼ください。

振動子

(水を霧に変える大切な働きをします。)

水そう部

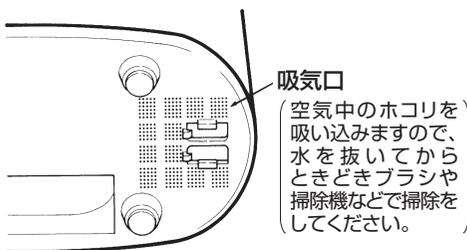
送風口

霧を送り出す風を出します。送風口から本体内部に水が入り込まないように注意してください。電気部品が水濡れしてショート・感電、故障の原因になります。

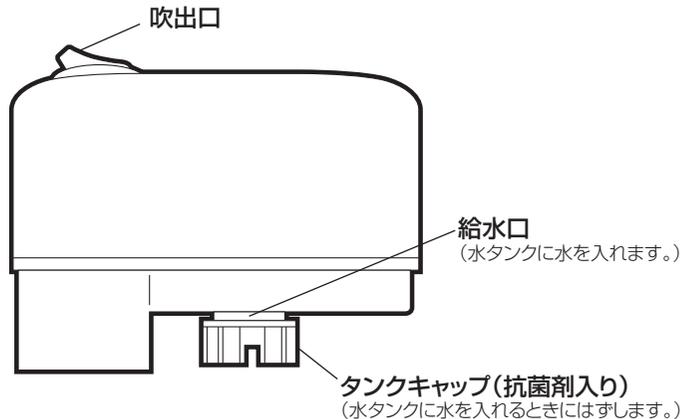
フロートスイッチ

タンク内の水がなくなり、水そう部の水位が下がると霧の発生が自動的に停止します。フロートスイッチをテープなどで固定したり、指で動かしたりすると正常に停止せず、振動子の破損・発熱や電気部品の故障の原因となります。

底部



水タンク



4 使用前の準備

1. 水タンクを洗います。



注意

●給水は、必ず水タンクに給水する。水そう部に直接給水しない。送風口から水滴が入り、感電や漏電の原因になります。



禁止

①吹出口を水タンクからはずしてください。

お願い

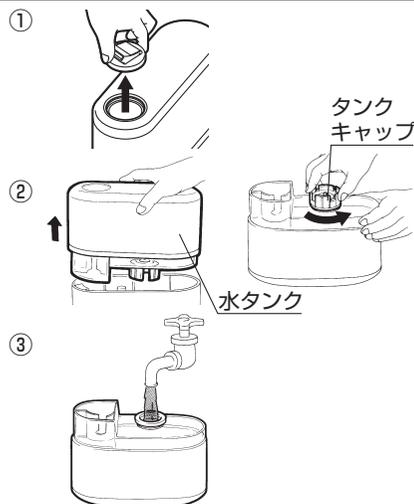
アロマキャップを閉めて吹出口をはずしてから水タンクを移動してください。開けたまま移動すると、オイルがこぼれ、変色・変形する原因になることがあります。

②水タンクを本体からはずし、タンクキャップを上にして、左「↶」に回して取りはずしてください。

③給水のとど、水タンク内を次の順序で洗ってください。

(1)水タンクに水道水を1~2L(水タンクの約1/2程度)入れてください。

(2)タンクキャップを右「↷」へ回して、しっかり締め、ふり洗いして水タンク内の汚れを取り除き、水を捨ててください。



お願い

洗剤は使用しないでください。

水タンクに残った洗剤の成分が水そう部に流れ、振動子に付着すると霧の量が少なくなり、故障の原因になります。

2. 水タンクに水道水(飲用)、または次亜塩素酸水を入れてください。



注意

●水道水(飲用)・次亜塩素酸水以外は使用しない。

井戸水や汚れた水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、浄水器の水などは使用しないでください。カビや雑菌が繁殖しやすくなります。お湯や精油(アロマオイル等)・洗剤・薬品・香料を入れた水などは使用しないでください。変形・破損(割れ)・故障の原因になります。



禁止

●次亜塩素酸水は当社指定液性を守る。

濃度50ppm以下、pH5.0~6.5

当社指定液性を守らないと、人体・動物・植物などに悪影響をおよぼしたり、機器の故障の原因になります。(製品保証が受けられません)



指示

●運転をしながら、水タンクや吹出口をはずさない。

水タンクや吹出口を外すときは電源を切ってください。水が飛び散り、故障や感電の原因になります。また水柱に触れると痛みを感じたりして危険です。



禁止

●水タンクの水は毎日新しい水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つように定期的に掃除する。

掃除せずにお使いになると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。この場合は医師に相談してください。

また、次亜塩素酸水は空気に触れたり、紫外線があたることで塩素濃度が下がっていきます。水タンクに次亜塩素酸水を入れた後は、できる限り早く使いきってください。



指示

●希釈が必要な次亜塩素酸水を使用する場合は、当社指定液性になるように水道水で希釈して、よく混ぜ合わせてください。次亜塩素酸水の希釈のしかたや使いかたは、次亜塩素酸水の説明書をご覧ください。

お願い

●水を入れるとき、持ち運ぶときに誤って水タンクを落とすと破損します。充分に注意してお取り扱いください。

●給水するとき、水タンクの給水口に水道の蛇口を直接差し込んで給水することはおやめください。水タンクが破損することがあります。

3. タンクキャップを右「↷」に回して、しっかり締め、水濡れがないことを確認して水タンクを本体にセットしてください。

お願い

水タンクを本体からはずしたまま、放置しないでください。暖房器具の熱や直射日光で温度が上がると、水タンク内の空気がふくらみ、タンクが変形することがあります。

4. 吹出口を水タンクにセットしてください。

5. 電源プラグをコンセント(家庭用AC100V)に確実に差し込む。

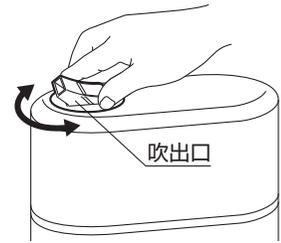
5 使いかた

1. 吹出口をお好みの方向に向けます。

- 吹出口を霧を出すお好みの方向に向けてください。

お願い

- テレビや家具、カーテンなどに霧が直接かからないよう、吹出口の方向に注意してください。
- 電源スイッチを「ON」にしたまま水タンクをはずしたり、本体を傾けたり、揺らしたり、転倒させないでください。本体内部に水が入る等故障の原因となります。



2. 調節つまみを回して、電源スイッチを「ON」にします。

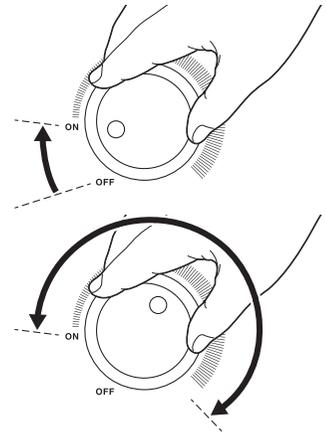
- 調節つまみを「OFF」から「ON」に回してください。

3. 霧の量を調節します。

- 調節つまみを「ON」から表示部右はじの間で、お好みの霧の量に調節して、ご使用ください。
- 霧の量を少なくしたとき、周囲の温度や湿度によっては、霧がすぐに蒸発して見えない場合があります。

お願い

調節つまみ位置が同じでも霧の量は一定ではありません。水温や室温が低いと霧の量が少なくなり、20～30分運転すると徐々に多くなります。また、その日の室温や天候でも変化します。長時間連続使用する場合は霧の量に注意が必要です。



4. 水道水または次亜塩素酸水がなくなったら、水タンクに補給します。

お願い

補給するために水タンクをはずすときは、必ず「電源スイッチ」を「OFF」にしてください。

- 水がなくなってくると、フロートスイッチが働いて、吹出口から霧が出なくなります。送風を止め(電源スイッチを「OFF」に)、水タンクに水を補給してください。

5. 霧が多いときは、調節つまみで調節します。

- その時の温度や湿度によって霧で床をぬらすことがあります。こまめに調節つまみで霧の量を調節してください。

アロマポットの使いかた(アロマ運転)

- スポンジ(別売品)とアロマオイル(市販品)をお買い求めてください。

①アロマキャップを開けます。

スポンジをアロマポット内へ入れます。

②アロマオイルをアロマポット内のスポンジに染込ませます。

お願い

- アロマオイルは、3～5滴を目安にスポンジに染込ませてください。それ以上入れたり、スポンジを取りはずした状態でアロマオイルを滴下すると、こぼれたり、変色・変形・固着の原因になることがあります。
- アロマポット・アロマキャップ・スポンジ以外にアロマオイルが付着した時は、きれいにふき取ってください。変形・変色・固着・ラベル類の剥がれのおそれがあります。

③アロマキャップを閉めて運転をします。

●移動するときは…

アロマキャップを閉めてから移動させてください。

開けたまま移動すると、アロマオイルがこぼれ、変色、変形、固着する原因になることがあります。

●アロマオイルの香りをかえるときは…

吹出口を取りはずし、アロマポット内のスポンジを取り除き、食器用中性洗剤で洗ってください。そのあと洗剤が残らないように水でよくすすいでください。新しいスポンジを使ってください。

※アロマ運転をするときは、水道水を使用してください。

(アロマオイルは噴霧した次亜塩素酸水の作用を低下させるおそれがあります。)

スポンジ(別売品)にアロマオイルを染込ませて香りを楽しみます。

■スポンジ(別売品)

商品コード:11231665

メーカー希望小売価格:200円(税抜)



(3個入)



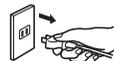
6 日常の点検・手入れ

警告

●改造は絶対にしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしない。
発火したり、異常動作して感電・けがや火災の原因になります。
修理は、お買い求めの販売店または当社の「お客様相談窓口」にご相談ください。



●お手入れの際は、必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜く。
感電や故障の原因になります。



●直接水をかけたり、水につけたりしない。
水がかかると、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、火災や感電の原因になることがあります。



■水タンクの掃除(給水のつど、おこなってください。)

●水タンクに給水するつど、水タンクに1/2程度の水を入れ、ふり洗いして、水タンク内の汚れを取り除いてください。
(「4 使用前の準備」を参照してください。)

■水そう部・振動子・フロートスイッチなどの掃除(1週間に1~2回以上)

お願い

- ベンジン、シンナー、洗剤、薬品類、みがき粉、化学雑巾などは使用しないでください。
また、熱湯(40℃以上)で洗わないでください。変形、変色、変質の原因になります。
- 送風口・操作部・吸気口などから内部に水が入らないようにしてください。
- 水アカなど加湿器の内部の付着物は、放置すると固まって取れなくなるおそれがあります。必ずこまめにお手入れをしてください。

1.水タンクをはずし、水そう部の水を排水方向から捨てます。

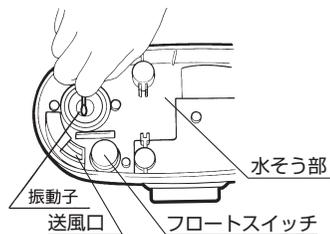
絶対に操作部側や送風口側に排水しないでください。
電気部品が水濡れして危険です。

2.振動子の表面、フロートスイッチを手入れします。

- 振動子の表面は、綿棒や柔らかい布でふいてください。
振動子の表面に汚れや傷がつくと霧の出かたが少なくなったり、故障の原因となります。
振動子表面が傷ついたり、振動子が破損したりする原因となりますので、金属製のブラシでこすったり、衝撃を与えたりしないでください。
- フロートスイッチの周りのゴミや汚れはブラシなどを使って取り除いてください。
ゴミや汚れが溜まるとフロートスイッチが正常に作動せず、故障の原因となります。

3.水そう部の掃除をする。

- 水そう部の内部の汚れは、ブラシやスポンジなどを用いて洗ってください。



お願い

洗剤は使用しないでください。
振動子に付着すると霧の量が少なくなり、故障の原因になります。

■吸気口の掃除(1箇月に2回以上)

本体底の吸気口に付着したほこりを掃除機などで取り除いてください。

■本体外側の掃除

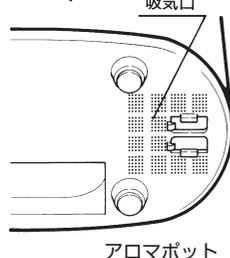
柔らかい布でふいてください。落ちにくい汚れは、中性洗剤溶液に浸した布を固くしぼってふき取り、そのあと洗剤が残らないように水ぶきしてください。

■アロマポットの掃除

吹出口を取りはずし、アロマポットを食器用洗剤で洗ってください。そのあと洗剤が残らないように水でよくすすいでください。

■電源プラグ・コンセント(1箇月に1回以上)

- 電源プラグ、コンセントにほこりや汚れがたまると、火災の原因となります。
1箇月に1~2回、電源プラグをコンセントから抜いて、付着したほこりや汚れを取り除いてください。



7 修理を依頼される前に

次の表に従ってお調べいただき、それでも具合の悪い時は、お買い求めの販売店または当社の **お客様相談窓口** にご連絡ください。

症状	調べるところ	直しかた
風も霧も出ない。	電源プラグが、コンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源プラグを、確実にコンセントに差し込んでください。
	電源スイッチが「ON」になっていますか。	電源スイッチを「ON」にしてください。
風は出ているが霧が出ない。	水タンクに水が入っていますか。	水を補給してください。(6ページ)
	フロートスイッチに水あかや鉄片が付着していませんか。	フロートスイッチを掃除してください。(8ページ)
	霧化ユニットにある振動子の寿命。	霧化ユニットを交換してください。 (お客様にて交換できません。販売店にご依頼ください。)
霧の出かたが少ない。	振動子の表面に水あかや堆積物がたまっていませんか。	振動子を掃除してください。(8ページ)
	水温や室温が低くありませんか。	給水温度、室温が低いときは、20～30分運転するとやがて多くなります。
	調節つまみが「ON」を少し過ぎた位置になっていませんか。	霧化量が少なく調節されています。調節つまみを右の方向へ回して、霧化量を多くしてください。
	水が水そう部にたくさん入っていませんか。	コンセントから電源プラグを抜き、いったん水そう部の水を捨ててから、水タンクをセットし直してください。
	油や洗剤や薬品などが水に混入していませんか。	水タンクと水そう部の水を捨て、すすいだ後、乾いた布で水滴をよくふき取ってから、セットし直してください。
本体より水がもれる。	水タンクが割れていたり、ヒビが入っていませんか。	水タンクを交換してください。 (販売店に依頼してください。)
床が濡れる。	室温が低くありませんか。	室温が低いと床濡れし易くなります。室温を上げてください。霧化量を調節してください。
	床の上で使用していませんか。	床の上に設置しますと、床濡れし易くなりますので、台の上などに設置してください。
ピチャピチャと音がする	振動子から発生する超音波振動により、水面から吹き上がった水がたまった水に落ちるときの音です。	異常ではありません。

8 保管

保管のしかた

保管する場合は **6 日常の点検・手入れ** をおこなってください。

水タンク、本体の排水後は、陰干ししてよく乾燥させてから、包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて高温多湿の場所をさけて、保管してください。

9 仕様

型 式 の 名 称	JEH-N35	
種 類	超音波式	
使 用 水	水道水または次亜塩素酸水(HClO:50ppm以下/pH5.0~6.5)	
製 品 能 力 電 気 特 性	霧 化 量	0.35L/hまで無段階調節
	連 続 運 転 時 間	約8.5時間(霧化量最大時)
	適 用 床 面 積 ※	~約26畳(加湿量数:6~10畳)
	水 タ ン ク 容 量	3L
	電 源 ヒ ュ ー ズ	125V 1A
	電 源	単相100V 50/60Hz
	定 格 消 費 電 力	43/41W
電 源 コ ー ド	約2m	
外 形 寸 法	幅260×奥行135×高さ300mm	
質 量	2.3kg(水を除く)	
附 属 品	ブラシ	

※霧が行き渡る面積であり、加湿器としての適用床面積ではありません。条件によって増減する可能性があります。

10 保証とアフターサービス

●この製品には保証書がついています。(裏表紙についています)
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●保証期間はご購入の日から1年間です。ただし、霧化ユニットは6箇月間です。
水道水または当社指定液性の次亜塩素酸水以外をご使用した場合は、製品保証できないばかりか、修理をお受けできない場合があります。

その他にも、保証期間中でも有料修理となることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、ご購入のの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。
費用など詳しいことはご購入のの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

●超音波霧化器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、ご購入のの販売店に修理を依頼してください。
アフターサービスをお申しつけたときは、右のことをお知らせください。

- アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、ご購入のの販売店または下記の **お客様相談窓口** までご相談ください。
- ご贈答、ご移転により、ご購入のの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、販売店または下記の **お客様相談窓口** までご相談ください。

霧化ユニットは消耗部品です。
霧化ユニットにある振動子は使うにつれて徐々に水を霧に変える能力が低下して霧化量が低下します。
定期的な交換をおすすめします。

型 式…JEH-N35
故障状態…できるだけ詳しく
ご氏名・ご住所・お電話番号
ご購入の年月日

11 お客様相談窓口

製品についてのお問い合わせ、故障修理のお問い合わせは
ご購入のの販売店にご連絡ください。
販売店にお問い合わせできない場合は、下記の
お客様相談窓口 までご連絡ください。

株式会社 **トヨタミ** お客様相談窓口

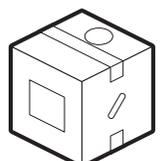
0120-104-154 FAX 052-857-1220

受付時間 平日(月曜~金曜)午前9時~午後5時
(土・日・祝日は除く)

ホームページ <http://www.toyotomi.jp/>

次亜塩素酸水のお問い合わせについて

- ご使用の次亜塩素酸水の詳しい説明につきましてはご購入のの販売店にお問い合わせください。



超音波霧化器保証書

型式	JEH-N35			保証期間	お買い求め日より	本体 1年間
※お買い求め日	年	月	日	霧化ユニット		6箇月間
※お客様	ご住所 ご芳名	〒	TEL			
※販売店	住所 氏名	〒	TEL			


 またはサイン

(※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は有料修理となりますから必ず確認し、**購入証明書(領収書)**を保管してください。)

本保証書は、本書記載の内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。

無料修理規定

- お買い求め日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、当社が無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または当社にご依頼ください。
- ご転居・ご贈答品等で、本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社へお問い合わせください。
- 保証期間内でも、次のような場合には**有料修理となります**。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い求め後の落下・転倒・衝撃・輸送等による故障及び損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障及び損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば、温室や業務用の使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - 部品の消耗による故障や損傷、部品交換およびメンテナンスの費用

へ. 本書の提示がない場合。

ト. 本書にお買い求め年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。ネット販売を利用した個人売買品や譲渡品、中古品の修理。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な場合は、お買い求めの販売店または当社の**お客様相談窓口**にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理等について、詳しくは「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。

●お客様の個人情報は、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

修理メモ	
年月日	
修理内容	
担当者	

株式会社 トヨタミ

〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号

お客様相談窓口

 **0120-104-154**

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
※土・日・祝日は除く

FAX 052-857-1220

ホームページ <http://www.toyotomi.jp/>

販売店印欄